

## 御在所岳(1212 m)、伯母子岳(1344m)、護摩壇山(1372m)、高野三山(1009m)

期 日 : 2011年(H23)3月19~21日(土、日、祭) 前夜発2泊3日  
 山行地 : 三重県菰野町、奈良県野迫川村、和歌山県龍神村、伊都郡高野町  
 参加人数 : 37名  
 集 合 : 3月18日(金) 大宮 21:00、用賀 22:00  
 解 散 : 新宿 22:30、大宮 23:00  
 参加費 : 25,000円  
 宿 泊 : 高野山恵光院(和歌山県伊都郡高野町高野山 497、Tel:0736-56-2514)

### 行動記録1: 登山コースおよび行動時間

| 月日            | 登山コース および 行動記録  |
|---------------|---|
| 3/18~<br>3/19 | 大宮発 21:00→用賀 22:00→東名浜名湖 SA(時間調整)・東名阪四日市 IC→湯ノ山温泉道の駅 5:00~6:10→御在所ロープウェイ駐車場 6:25~登山開始 7:00...一ノ谷 7:45...負ばれ石 8:30...キレット 9:05...山上公園 10:30...御在所山頂 11:00...最高点 11:10...山上公園レストラン(昼食)11:25~12:10→ロープウェイ下山 12:30→高野山恵光院着 16:30...高野山奥の院ナイトツアー 19:20~20:20 |
| 3/20          | 恵光院本堂、護摩堂ご供養 6:30~7:20 恵光院発 8:10→大股 9:10 登山開始 9:25...萱小屋跡 10:15...桧峠 11:05...伯母子岳山頂(昼食)11:50~12:25...口千丈山 13:50...林道 14:15...スカイライン 15:40...駐車場 15:45...護摩壇山 16:00...駐車場 16:10~16:40→恵光院着 17:15   |
| 3/21          | 奥の院、金剛峯寺拝観 6:30~7:20→恵光院発 8:20→中之橋霊園、登山開始 8:30...転軸山 8:45...子継地藏 9:20...楊柳山 9:45...摩尼山 10:25...奥の院 11:00...駐車場 11:10→恵光院 11:20~45→西名阪・東名阪・四日市 IC・豊田 JCT・中央道→新宿駅 22:30→大宮駅着 23:00  |

### 行動記録2

東北関東大地震の後なので、キャンセル者が多くいた。リーダーも判断に苦慮されたのではないかと推察する。ともあれ実施となれば、参加者として何事もなく無事終われるよう、慎重に行動しようと意を決め、集合場所に出かける。定刻にバスは出発、用賀も予定時間に到着、一路、初日に登る鈴鹿山脈に向かう。

#### 二日目 御在所岳 (天候: 晴れ)



おばれ岩

御在所ロープウェイ駐車場から三班に別れて歩き出す。さすが鈴鹿山脈、昨日降ったのだろうか雪である。しかし登り始めると、所々で黄色いマンサクの花が目につき、確実に春がそこまで近づいているのを感じる。一ノ谷から中道に入る。このコースは標高の割に巨岩が林立、アルペン的な要素を持っていて楽しい。早速「負ばれ石」や「地藏岩」が現れる。見上げるような岩峰が見事に重なり合い、よく崩れないものだと感心する。半ば過ぎ辺りから雪の量も増えてきたが、アイゼンをつけなくて何とか歩ける。上部は風もあるが岩陰で休憩、幸い天候に恵まれ青空のもと周囲の山々を眺めながら登る。キレットでは前後で足場の申し送りをしながら無事に通過、山上公園に至る。5月になると

見事なヤシオツツジの花々に囲まれる広場だが、今日は雪がいっぱいだ。そして御在所岳山頂へは一足飛び、最高点から鎌ヶ岳が形良く望め、登高意欲をそそられる。下り



地藏岩

は雪と時間の関係でロープウェイを利用する。

今日の宿は高野山の宿坊、初体験だがお寺さんの心遣いが良く伝わり、またお料理も美味しく、好感を持つ。夕食後は奥の院までナイトツアーに参加。

### 二日目 伯母子岳～護摩壇山（天候：曇り後雨）

宿坊泊りの一日は、朝食前のお勤めから始まる。今回の大地震被害者の方たちのことを祈る。

今日の二座は稜線縦走のロングコースなので、雪の状態によりコース変更ありとリーダーの説明を受けながら登山口に向かう。しかし心配したほどでもなさそうだ。植林のジグザグ道から歩き出すが、今日もまた体調不良者が一名あり、SLと下る。

萱小屋跡を過ぎると傾斜も弱まり、雑木林も交じる。標識に導かれながら歩を進め、昼前には伯母子岳に到着。山頂からは幾重にも連なる山々が望めたが、指呼出来なかった。ただ縦走路がはるか先に続いていて我々を呼んでいるようだった。風を避け昼食を取るが、天気予報の予想通り雨が降り出し、急ぎ雨具を着け、護摩壇山縦走へと出発する。

稜線には雪も有ったがザクザクと硬く歩くには問題が無かった。ピークらしくない口千丈山を越し、林道となる。この林道の長いこと、上り下りを7km、1時間半しっかり歩く。みんな早い。時速4kmどころではない。（後で女性群はあれを修行と呼ぶ、山を歩けるだけで幸せと）ようやくバスの待つ駐車場へ到着。ここから階段状の道を15分ほど登ると、お目当ての護摩壇山へ着く。山頂は残念ながら樹林帯の中で見晴らしもない。早々に戻る。宿に着いたらお寺さんが沢山のタオルや新聞紙を用意してくれて有り難かった。

### 三日目 高野三山（天候：三日目雨）

早朝、高野山金剛峯寺や奥の院にお参りする。狩野探幽や元信の襖絵もあると聞く。雨の中のおごそかで静かな境内にたたく伽藍や塔々、またゆっくり来てみたいと思う。

今日の山行は雨でもあり、24人の登山希望者と残りの観光組に別れて行動する。高野三山の矢印が書かれた小さな看板に従い小道に入る。15分で最初の一座転軸山に着く。

小さなピークに小さな祠。少休後、何回かのアップダウンで、二座目の楊柳山へ。やや広いピークにやや大きめの祠。この三山の中で一番高度が高い、といっても今日は楽々山行、みんな足取りが軽い。最後の一座の摩尼山の小さな祠で今回の山行の無事終了の礼をする。下山は高野杉の立ち並ぶ道を通り抜け奥の院へ。由緒ある墓やユニークな墓の見学というおまけ付。

宿坊で着替えた後、バスで一路東京へ向かうが、東名高速へ入るのに大渋滞。途中であきらめ中央道に切り替える。幸い渋滞もなく新宿、大宮へと帰る。一時は終電を心配したが、どうにか全員電車を確保、解散となった。

リーダー本当にお疲れ様でした。また家に戻り毎日のように余震が続いている。この三日間が夢のように感じられるのは私だけだろうか。

